

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hvakuta.m-alps.ed.jp/>

花育体験

10月2日、1年生が山梨県花き振興協議会主催の「花育体験事業」に参加しました。山梨県農政部の高橋真史さん、米山生花店さんが講師として、来てくださいました。1年生のみならず、とてもきれいに寄せ植えができました。



美しい花を前にすると、心も洗われ優しくなれるような気持ちになります。

5年生は林間学校へ

運動会が終わると、いよいよ秋の活動が始まります。5年生は清里へ林間学校に出かけてきました。例年ですと



一泊二日の活動ですが、新型コロナウイルス感染防止として、夜の活動

がなかなか計画できず、二日分の野外活動を一日にまとめて実施いたしました。美し森ハイクでは励まし合いながら汗を流し、冒険ハイクでは仲間と協力しながらアスレチックを楽しみました。自然を大いに楽しんできたようです。

陸上記録会に向けて

10月16日の陸上記録会に向けて、6年生の練習が始まりました。この行事も新型コロナの影響から、第3支会での実施はできず、源小との合同開催となりました。自分への挑戦、頑張り!



※6年生保護者の清水忠彦さん(颯君のお父さん)がボランティアで指導に来てくれました。

ご協力ありがとうございました

2学期最初の大きな行事の運動会、今年度は多くの制約の中、規模を縮小して何とか開催することができました。大きなトラブルや一番心配していた新型コロナの蔓延もなく、無事実施できたことに胸をなでおろしています。実施までの過程の中で、多くのお願いをしましたが、保護者の皆様はとても協力的でありがたかったです。児童も、限られた中で精一杯頑張ってくれました。今後少しずつ行事を仕組んでいきますが、引き続きお願い申し上げます。HPの「学校のひろば」の各学年の様子もご覧ください。



一筆啓上 日本一短い手紙

1993年から、丸岡町文化振興事業団が毎年募集している「日本一短い手紙」をご存じですか。母、家族、父、ふるさと、友、命…への思いを句読点を入れて40字以内で記した作品です。入賞作品はインターネット上で紹介されますし、本にもなって販売もされています。私には文才がないので応募したことはありませんが、毎年入選された作品を目にすることを楽しみにしております。どの作品を読んでも、短い内容の中にそれぞれの思いが凝縮されていて、思わず涙、涙、感動のひとときを送ることができます。

(今年も10月12日まで募集があります。今年のテーマは「笑顔」だそうです。)

- ① お母さん、雪のふる夜に私を生んでくださってありがとう。もうすぐ雪ですね。
- ② 「私、母親似でブス。」娘が笑って言うの。私同じことを泣いて言ったのに。
ごめんね、お母さん。
- ③ 母さんの日記見つけました。毎日のように出てくる私の名前。ごめんなさいね。
- ④ お母さん、毎日ふつうをありがとう。ふつうには大変な努力があるんだね。
- ⑤ 高速道ができました。でも母さんのいないふるさとは、なんだか遠くなりました。
- ⑥ 大きな尻。幾重もの首のしわ。足首がない。でもお母さんの中には、白い海がある。
- ⑦ 雪のふる日、校門をくぐるお母さん。ぼくははじめて、悪いことをしたと思いました。
- ⑧ 若い日、あなたに死ぬと言った。あの日の私を殺したい。
- ⑨ あなたからもらったものは多く、返せるものはとても少ない。
- ⑩ 洪水の夜、ぼくを救って星になった母さん。ママ母だったと、ずっと後に知りました。
- ⑪ 合格発表の日、掲示板にぼくの番号を見つけてぼくをなぐった父さん。うれしかった。
- ⑫ 戦争へ行った父へ…父ちゃんも人を殺したの？昔、何もわからんで悲しい質問をしてごめんなさい。
- ⑬ ちくしょう。あげたての天ぷらが食いてえ！
—ガダルカナル島で戦死した兄からの最後のはがき—
- ⑭ お前の大きな財産の一つは、いじめの痛さを知ってることだ〈私へ〉。
- ⑮ ずっと「いい子」の私。やめたいのに本当の私をわすれてしまった。私は何がしたいの。
- ⑯ どんなにキレイに音をかなでても、この命の鼓動にはかなわない。
- ⑰ 横たわった子ねこ。学校におくれてでも、うめてあげればよかった。ごめんね。
- ⑱ テレビゲームがないと死んじゃうという息子。そんなに軽い命に生んだ覚えはない。
- ⑲ 一月一日、お父さんが泣いた。そのとなりで、おじいちゃんが静かにねむっていた。
- ⑳ 生まれたのもすごい。みんなと出会ったのもすごい。ふつうだけどすごい。
- ㉑ この前、ぼくは、家の近くの交差点で、命を落としそうになりました。
- ㉒ また明日って、いい言葉だよ。命あるかぎり、明日はだれにもやってくるのだから。
- ㉓ ゲームではもどる命も、本当はもどらない。それに気づいたとき、なみだがあふれ出たんだ。
- ㉔ お父さん、お母さん、命をどうもありがとう。命、最初はうれしい。最後は悲しい。
- ㉕ イナイ、イナイ、バア。酸素マスクを外し孫を笑わせたね。母の最期の笑顔だった。

